Konica

取 扱 説 明 書

第二種情報装置

この装置は、第二種情報装置(住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置)で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。しかし、本装置をﾗｼﾞｵ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。
取扱い説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(ＶＣＣＩ)の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。本製品は家庭環境で使用することを目的としておりますが、本製品がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると受信機障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取扱いをしてください。

安全上のご注意

＊必ずお守りください

本製品は安全性には十分配慮していますが、下記の表示マークおよび警告・注意に関する記載をよくお読みになった上で正しくお使いください。
下記の表在ﾇマークは、万一障害や損害を与えることのないように、正しく製品をご使用いただくための警告表示マーク・注意表示マークです。

表示マークの意味

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告

この表示は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意

この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です）

⚠ このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⚠ このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意

＊必ずお守りください

⚠ 警告

次の場合は、直ちに使用を中止し、電池やACアダプターを取り外してください。
ACアダプターを使用している場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、販売店へご相談ください。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
●煙が出ている、カメラが異常に熱くなる、変な臭いや音がするなどの異常状態のとき
●機器の内部に水などが入ったとき
●異物が機器の中に入ったとき

分解や改造、ご自身での修理はしないでください。
火災や感電の原因となります。
修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

水をかけたり、あらしたりしないでください。
内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因となります。
水が入ったと思われるときは、直ちに使用をやめ、販売店にご相談ください。

内部に金属物や燃えやすいものを落としたり、入れたりしないでください。
内部に金属物などが入ると、火災や感電、故障の原因となります。

自動車など乗り物を運転しながらの使用は絶対にしないでください。
交帳事故誘発の原因となります。
歩きながら使用するときは、周囲の状況、路蔓の状態などに十分ご注意ください。

不安定な状態で使用しないでください。
特に高所の場合、転落すると、死亡や大ケガの原因となります。

ファインダーで直接太陽を見ないでください。
失明や視力障害の原因となります。

雷が鳴り出したら本機の金属部に触れないでください。
落雷すると、誘電雷により感電死の原因となります。

安全上のご注意

＊必ずお守りください

⚠ 警告

指定外のACアダプターを使用しないでください。
指定外のものを使用すると火災の原因となります。

電池の分解、ショート、加工（ハンダ付けなど）、加熱、加圧（釘で刺すなど）、火中への投入などしないでください。また、他の金属物（針金やネックレスなど）に接触させないでください。
液もれ、発熱、発火、破裂のおそれがあります。

⚠ 注意

レンズを太陽や強い光源に向けないでください。
集光により、内部部品の破損の原因となり、そのまま使用するとショートや絶縁不良で発熱し、火災のおそれがあります。

電池蓋、カード蓋、レンズバリアに、指を挟まないようにご注意ください。
挟まれると、ケガをするおそれがあります。

飛行機内で使用するときは、航空会社の指示に従ってください。
本機が出す電波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。

次の場所には放置しないでください。

●強い直射日光が当たる所や、車の中など高温になる場所。
火災や破裂のおそれがあります。

●乳幼児の手の届きやすいところ。
ストラップが首に巻きついて窒息する、電池やCFカードなどの付属品を飲 み込むなどのおそれがあります。

●ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
頭や足の上などに落下すると、ケガにつながるだけでなく、故障の原因ともなります。

●油煙や湯気の当たる所、湿気やほこりの多い所、振動が激しい所。
内部に水やほこりが入ったり、激しい振動で内部部品が破損したりすると、発熱や火災、感電の原因となります。

安全上のご注意

＊必ずお守りください

⚠ 注意

無理な操作を行わないでください。
機器が破損してケガの原因となります。

目に近づけてフラッシュを発光させないでください。
目を痛める危険があります

電池を入れるときは、＋・ーの向きを確かめ、正しく入れてください。
間違えると、電池が発熱、破裂、液もれなどを起こし、やけど、ケガをする危険があります。

汗や油で汚れた電池は使用しないでください。
もし汚れていたら、乾いた布で良く拭いてから使用してください。

カメラのお手入れをするときは、安全のためACアダプターを外してください。

長時間ご使用にならないときは、電池を取り外してください。

小児が使用する際は、保護者が正しい使用方法を十分に教えてください。
ケガの原因となることがあります。

三脚に取り付ける場合、カメラを回して付けないでください。

電池の液もれ処理について

●万一、液もれが発生したり、液が手や衣服に付着したときは、すぐに水でよく洗い流してください。

●目に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師に相談してください。

目　次

はじめに

概要

このたびはコニカデジタルカメラe-mini M をお買い上げいただきありがとうございます。このデジタルカメラは撮影機能だけでなく、MP3プレーヤー、オーディオレコーダー、PCカメラが一体となっています。
このカメラには2MBのメモリが内蔵されています。さらにCompact Flashカード(Type I)を挿入できるメモリカードスロットが装備されています。デジタル画像とオーディオデータをカメラからＰＣへダウンロードするには、USBケーブルによる接続が必要です。またUSB接続により、MP3ファイルをカメラへ転送することもできます。

パッケージリスト

- e-mini M 本体x １台
- USBケーブルx １本
- ビデオケーブルx １本
- イヤフォンx １個
- 単３アルカリ乾電池×２本
- ソフトウェアCD-ROM x １枚
- クイックガイドx １冊
- 取扱説明書x １冊
- ケースx １個
- ストラップ×１本

CD-ROMに格納されているプログラム：

Disk 1 :MGI PhotoSuite III SE、Multimedia Camera Manager
Disk 2 : MGI Video Wave SE+

アクセサリ（オプション）

コニカコンパクトフラッシュカード　８ＭＢ（型番：ＣＦ１－８Ｍ）
コニカコンパクトフラッシュカード　１６ＭＢ（型番：ＣＦ１－１６Ｍ）

動作環境(Windows)

Pentium 166MHz以上のCPUとグラフィックカードが搭載されたPC
Microsoft Windows 98/98SE/2000/Me
RAM：32MB以上
ハードディスクの空き容量：100MB
USBおよびCD-ROMドライブ
カラーディスプレイ（800x600、24ビット以上を推奨）

各部の名称

カメラをお使いになる前に、各種機能について理解しておいてください。このセクションでは、カメラの各パーツについて説明します。

A．電源ボタン

B．シャッター

C．撮影準備完了 LED

D．モードダイアル

E．レンズ

F．ファインダー窓

G．フラッシュ

H．CF カードスロット

I．セルフタイマー LED

J．消去 / 中止ボタン

K．録音 / 再生モード
選択ボタン

L．マイクロフォン

M．コントロールスイッチ

N．イヤフォンジャック

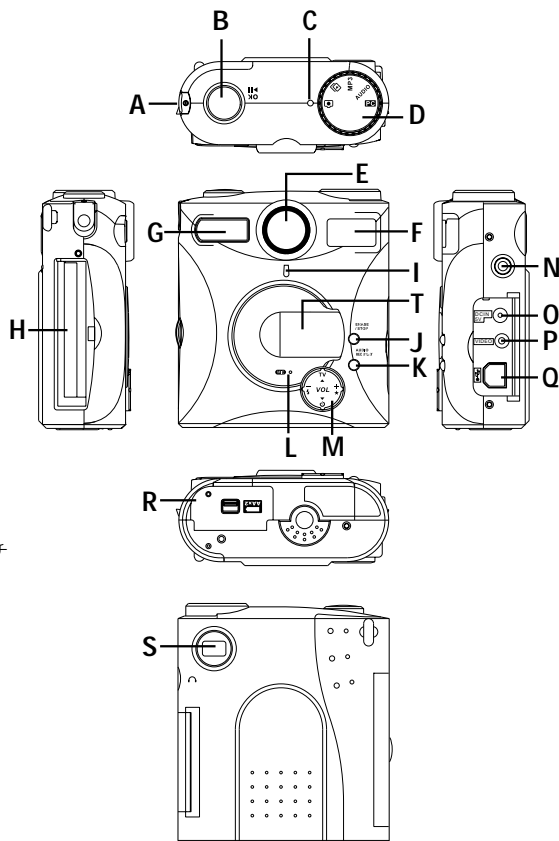
O．ＡＣアダプター端子

P．ビデオポート

Q．USB ポート

R．バッテリーカバー

S．ファインダー接眼窓

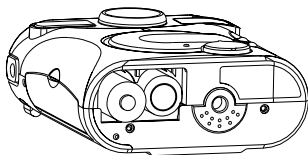
T．ＬＣＤパネル

はじめましょう

e-mini Mにはバッテリーやストラップが標準で装備されています。このセクションでは、これらの使い方と基本的な操作方法について説明します。

バッテリーの挿入

電池室はカメラの一番下にあります。単３アルカリ乾電池が２本必要です。
電池の装着方法：

1. バッテリーカバーを開きます。
2. 電池を正しく挿入します。その際、バッテリーカバーの内側に表記されている通り、極性の方向に注意しながら挿入してください。
3. カバーを閉じます。

注 意

USBケーブルを使ってカメラとPCを接続するときには、電池を使用する必要はありません。カメラにはUSBポートを介してPCから電源が供給されます。

警 告

- 長期間カメラを使用しないときには、電池を抜いておいてください。
- マンガン電池は絶対に使用しないでください。また古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 0°C以下の環境では電池の性能が低下し、稼動時間が短くなります。
- 単３アルカリ乾電池の使用をお勧めします。

バッテリー残量表示

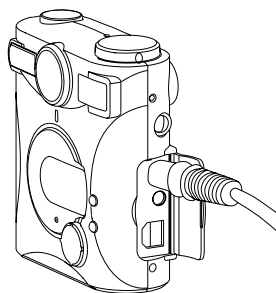
完全に充電されると、LCDパネル上のバッテリー電源のアイコンが点灯します。残量が少なくなると、アイコンの右の部分だけが点灯した状態になります。このような表示になったら電池を取り替えてください。電池が完全に消耗してしまうと、カメラの電源が入りません。

フル
半分
空

ＡＣアダプター（オプション）の使い方

AC 電源を使用する場合は、ＡＣアダプター(5V/2.4A)をご使用ください。ＡＣアダプターをカメラのDC INポートに接続し、アダプターをコンセントに差し込んでください。

注 意

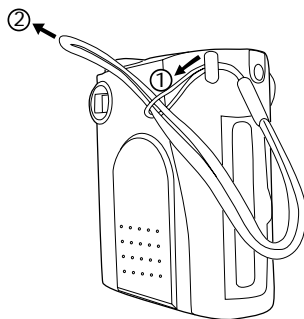
USBケーブルを使ってカメラとPCを接続するときには、ＡＣアダプターを使用する必要はありません。カメラにはUSBポートを介してPCから電源が供給されます。

警 告

- ＡＣアダプターは指定のものをご使用ください。それ以外のアダプタを使用した場合は、保障が適用されなくなります。
- アダプタをコンセントから抜くときには、コードを引っ張らずにアダプタを持ってください。
- 電源コードが破損している場合は（線が露出したり、線が切れているなど）、新しいＡＣアダプターをご購入ください。破損したコードを使用すると、火災や電気ショックを引き起こす可能性があります。
- カメラをコンセントから抜くときには、電源を切り、ACアダプターをカメラから外してください。

ストラップの装着

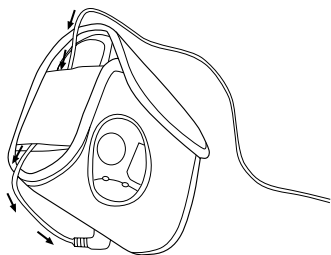
屋外で撮影を行う場合は、カメラにストラップを付けると便利です。

ストラップの装着方法

1. ストラップをカメラのストラップホルダーの穴に通します。
2. ストラップのもう片方の端をループに通し、ストラップを引っ張ってカメラが落ちないようにします。

イヤフォンの装着

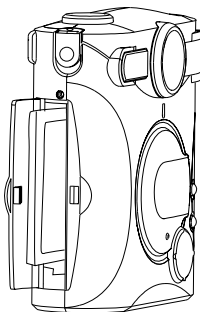
MP3ミュージックや録音した音楽を聴くには、カメラにイヤフォンを装着する必要があります。

イヤフォンの装着方法

1. イヤフォンコネクタの端をカメラケースの横にある穴に通します。
2. コードがケースのもう片方の穴から出てくるように引っ張ります。
3. イヤフォンコネクタをイアフォンジャックに接続します。

CF カード(オプション)の使い方

このカメラには画像、MP3ミュージック、録音したオーディオを保管しておけるように、2MBのメモリが内蔵されています。メモリが足りない場合は、CFカードを挿入すると保存容量を増やすことができます。

CF カードの挿入

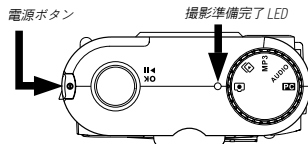
1. カメラの横にあるカードスロットを開きます。
2. CFカードの正面が手前に来るように(カードの裏がカメラの正面を向くように)挿入し、ピンコネクタがカードスロットに向くようにしてください。
3. メモリカードがカチッと鳴るまでカードスロットに押し込みます。
4. カードスロットのカバーを閉じます。

注 意

CF カードを取り外すには、カードスロットの内側にあるイジェクトボタンを押します。

カメラの操作

カメラの電源を入れたら(電池、ＡＣアダプター、USB ケーブルのいずれかを使用)、カメラを操作することができます。

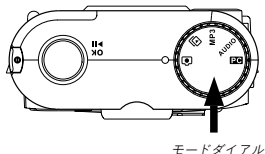
カメラの準備

カメラの電源は、カメラの横にある電源ボタンを押すとONになります。カメラの上にあるLEDが点灯したら、カメラの電源がONになったことを意味しています。

オート OFF 機能

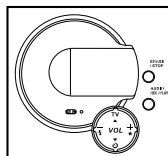
２分以上カメラを放置しておくと、自動的に電源が OFF になります。ただし、USB や AC アダプターを使用しているときにはオート OFF 機能は作動しません。

モード変更

操作モードを変更するときには、カメラの上部にあるモードダイアルを使います。モードダイアルを左右に回すと、モードが切り替わります。モードダイアルには５つのアイコンがあります。指定したいモードのアイコンが中央に来るように、モードダイアルを回してください。
操作モードについての詳細は、次のページをお読みください。

モードダイアル

DSC モード
TV モード
MP3 モード
オーディオモード
PC モード

機能

フロントパネルにあるコントロールスイッチは操作モードによってさまざまな機能に変わります。たとえばDSCモードでは4-Way切り替えになり、フラッシュモードの設定、画質の選択、セルフタイマーの設定などを行えます。MP3 モードやオーディオモードなどの操作モードでは、これらのボタンはその機能が変わります。次のセクションでは、それぞれの操作モードについて説明します。

機能操作

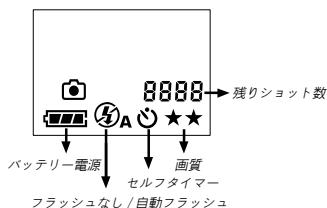
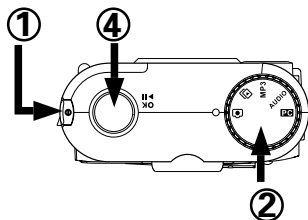
e-mini M をデジタルカメラとして使用する

このカメラでは、デジタルフォトを簡単に撮影できます。このセクションでは、撮影の仕方を説明します。

撮影について

撮影するときには、カメラをDSCモード に設定します。このときバッテリーが十分残っているか、またはＡＣアダプターが正しく接続されているかどうかを確認してください(バッテリーの装着方法とＡＣアダプターの接続方法については、10ページから11ページをお読みください)。USBケーブルでカメラとPCを接続して電源を供給することもできます(USBケーブルの接続方法については、18ページを参照してください)。CFカードに撮影した画像を保存する場合は、撮影前にメモリカードを挿入しておいてください。CFメモリカードが挿入されていなければ、画像は内蔵メモリに保存されます(メモリカードの挿入については、12ページをお読みください)。

撮影するには

1. 電源ボタンを押してカメラの電源を入れてください。カメラの上部にある撮影準備完了LEDが点灯します。
2. カメラをDSCモードに設定します。カメラをDSCモードに設定するには、LCDパネルにDSCアイコンが表示されるまでモードダイヤルを回してください。
3. ビューファインダーを使って撮影したい被写体に焦点を合わせます。
4. 静止したままでシャッターボタンを押すと撮影できます。
5. カメラがイメージをキャプチャーし、処理している間、撮影準備完了LEDが連続的に点滅します。
6. 点滅が止まったら、次の画像を撮影できます(カメラがONになっているときには、撮影準備完了LEDは常に点灯しています)。

DSCモードのLCDパネル

画像の消去

DSCモードのときには、カメラのメモリから画像を消去することはできません。画像を消去するには、TVモードに設定してください。詳細については、25ページを参照してください。

カメラの機能

e-mini M をデジタルカメラとして使用するときには、カメラのフロントにあるコントロールスイッチで必要に応じてオプションを選択します。

フラッシュモード

このカメラには２種類のフラッシュモードがあります。

フラッシュなし － 環境の明るさに関係なく、フラッシュは発行しません。

A オート － 環境の明るさが足りない場合は、自動的にフラッシュが発行します。

画質

このカメラでは解像度 640 X 480 ピクセルで撮影できます。このカメラは２つの圧縮設定でイメージをキャプチャーできます。標準画質（高圧縮率）と高画質（低圧縮率）です。圧縮率を低くすると、画質が高くなるため撮影できる枚数が少なくなります。圧縮率を高くすると、適度な画質を保ちながらより多くの画像を撮影できます。

★ 標準画質 － 32 枚
★★ 高画質 － 16 枚

（保存できる画像の数はメモリの空き容量、画質モード、被写体により異なります）。

セルフタイマー

コントロールスイッチでセルフタイマーをセットし、シャッターボタンを押すとセルフタイマーＬＥＤが点滅し、約 10 秒後にシャッターが切れます。

画像の表示

カメラをTVに接続するとTVに画像を表示できます。このセクションでは、カメラとTVを接続して、TVに画像を表示する方法を説明します。

カメラを TV モードに設定

撮影した画像を TV に写したり 、カメラのメモリから画像を消去したりするには、カメラを TV モードに設定する必要があります。

TV 機能の操作

TV モードのときには、カメラのフロントト部分にあるコントロールスイッチを使って TV 規格、画像の早送り、巻き戻し、画像の消去などを実行できます。

注 意

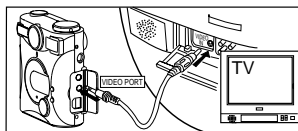
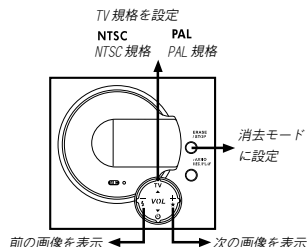
画像の消去については、25 ページを参照してください。

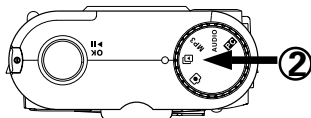
TV に画像を表示

撮影した画像を TV に映すには 、カメラを TV モードに設定します。

カメラと TV の接続

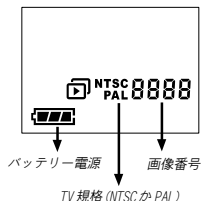
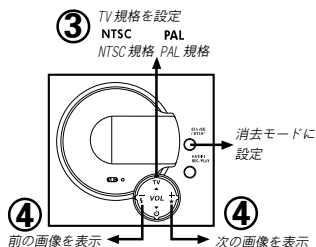
カメラに同梱されているビデオケーブルを使ってカメラと TV を接続します。

1. ビデオケーブルをカメラのビデオポートに接続します。
2. ビデオケーブルのもう片方の端を通常は TV に設置されているビデオ入力ソケットに接続します。

TV 出力

TVに画像を表示する前に、TVの規格を指定する必要があります。NTSC規格の場合はカメラをNTSCに設定します。同様にPAL規格の場合はカメラをPALに設定します(カメラのTV出力については、16ページの図をご覧ください)。

画像の表示

カメラをTVに接続したら、いよいよ画像を表示することができます。

1. TVのスイッチを入れて、TVをビデオモードに切り替えます。
2. カメラをTVモードに設定します ⧉。
3. e-mini Mのフロント部分にあるコントロールスイッチを使ってカメラのTV出力モードを選択します。TVを押して正しい規格を選択してください (NTSCかPAL)。
4. TV画面に映す画像を選択する場合にコントロールスイッチを使用します。次の画像を表示する場合は右(+)、前の画像を映す場合は左(–)を選択します。前後の画像を選択するときには、LCDパネルに現在表示中の画像の番号が表示されます。

③ TV規格を設定
NTSC PAL
NTSC規格 PAL規格
ERASE / STOP
AUDIO REC/PLAY
消去モードに設定
MIC
TV VOL
④ 前の画像を表示
④ 次の画像を表示

TVモードのLCDパネル

注 意

画像をPCにダウンロードすると、コンピュータのモニタに画像を映すこともできます。画像のダウンロードについての詳細は、18ページを参照してください。

PC

PC に画像をダウンロードする

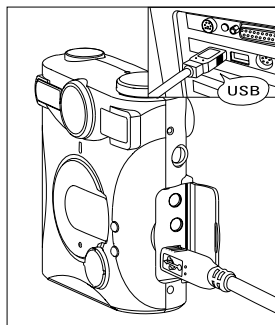
カメラのメモリや CF カードがいっぱいになったときには、画像を消去すると続けて撮影を行うことができます。画像を消去する前に、必要な画像はコンピュータに転送して保存してください。このセクションでは、画像をコンピュータに転送させる方法を説明します。

注 意

画像の消去については、25 ページを参照してください。

カメラと PC の接続

カメラに同梱されているUSBケーブルでカメラとPC を接続します。

1. USB ケーブルをPCのUSBポートにつなぎます。
2. USB ケーブルのもう片方の端をカメラの USB ポートにつなぎます。
3. カメラの電源を入れます。

注 意

USB ケーブルを使ってカメラと PC を接続するときには、バッテリーやＡＣアダプターを使用する必要はありません。カメラにはUSBポートを介してPCから電源が供給されます。

ドライバとソフトウェアのインストール

DSC Application Suite CD には次のソフトウェアとカメラ用ドライバが格納されています。

- MGI Photosuite III SE – 画像をすばやく、楽しく編集できるソフトウェアです。
- MGI VideoWave SE+ – 初心者の方でもプロフェッショナルなビデオをすばやく、簡単に作成できる高性能な PC ビデオソフトです。
- Multimedia Camera Manager – 画像、オーディオ、MP3 ファイルをカメラから PC へ効率よく転送したり、管理したりするためのソフトです。

e-mini M 本体とPCの間でファイルを転送するためには、DSC Application Suiteの中のMultimedia Camera Managerをインストールする必要があります。このソフトウェアには自動セットアッププログラムが組み込まれています。Disk 1をCD-ROMドライブに挿入すると、DSC Application Suiteのメインメニューが表示されます。このメニューが表示されない場合は、setup.exeファイルをCD-ROMドライブのルートディレクトリから手動で起動することができます。

1. Disk 1をCD-ROMドライブに挿入します。
2. チェックボックスをクリックして、インストールしたいソフトウェアを選択します。
3. 画面の指示にしたがってドライバとアプリケーションをインストールします。
4. システムを再起動します。するとデスクトップ上にDSC Application Suiteのショートカットアイコンが作成されています。

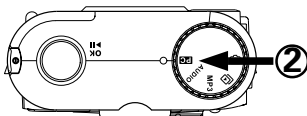
注 意

動作環境はバンドルされているソフトウェアにより異なります。詳細はそれぞれのソフトウェアのヘルプメニューを参照してください。

パソコンに画像を取り込む

画像をカメラからPCへ転送します。

1. カメラが正しくPCに接続され、カメラのドライバがインストールされていることを確認してください。
2. カメラをPCモードに設定します。
3. デスクトップ上のDSC Application Suiteのショートカットアイコンをダブルクリックします。
4. Multimedia Camera Managerのボタンをクリックします。
5. Multimedia Camera Managerのフォルダから指定したフォルダにイメージファイルをドラッグするか、コピーします。
6. コピーが完了したら、イメージはカメラからPCへダウンロードされたことになります。

MP3

e-mini M を MP3 プレーヤーとして使う

e-mini M を MP3 プレーヤーとして使用するには、まず MP3 ミュージックを PC からカメラへ転送する必要があります。このセクションでは MP3 ファイルをどこから入手し、それらをカメラにアップロードして再生するための手順を説明します。

MP3 ミュージックファイルの入手先

MP3 ミュージックを入手するには、３つの方法があります。

● インターネットから

インターネット上には MP3 ファイルをダウンロードできるサイトがあります。このようなサイトを検索し、ダウンロードしてください。

● あなた自身の CD コレクションから録音する

従来のミュージック CD のミュージックトラックを MP3 ファイルに変換する方法もあります。この場合、市販の MP3 エンコーディングソフト等をご使用ください。。

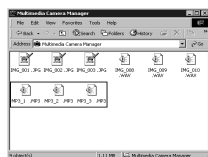
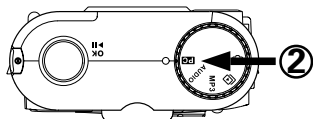
著作権について

特に有名なアーティストのミュージックは、著作権で保護されています。許可なく MP3 ファイルを配布したり、使用したりすると、国際著作権法違反となりますのでご注意ください。

MP3 ファイルをカメラ本体に転送する

MP3 ミュージックファイルをカメラ本体に転送するには

1. カメラに同梱されている USB ケーブルを使ってカメラと PC が正しく接続されていることを確認してください(USB ケーブルの接続方法については、18 ページを参照してください)。

2. カメラをPCモードに設定します PC。
3. デスクトップ上の[DSC Application Suite]のショートカットアイコンをダブルクリックします。
4. Multimedia Camera Managerのボタンをクリックします。
5. 転送したいMP3ミュージックを選択し、MP3ファイルをMultimedia Camera Managerのフォルダにドラッグしてください。
6. コピーが完了したら、MP3ミュージックはPCからカメラへアップロードされたことになります。

注 意

USBケーブルを使ってカメラとPCを接続するときには、バッテリーやＡＣアダプターを使用する必要はありません。カメラにはUSBポートを介してPCから電源が供給されます。

MP3再生コントロール

MP3モードでは、カメラの上面にあるシャッターボタンとコントロールスイッチを使ってＭＰ３ミュージックを再生します。

音量を下げます

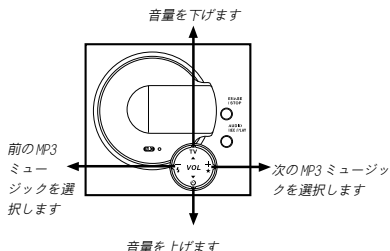
ERASE / STOP
AUDIO REC/PLAY
MIC
TV
VOL

前のMP3ミュージックを選択します

次のMP3ミュージックを選択します

音量を上げます

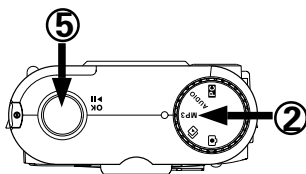
注 意

MP3ミュージックの消去については、25ページを参照してください。

MP3ミュージックの再生

MP3ファイルを転送したら、ミュージックを再生できます。MP3ミュージックを再生するときには、カメラのバッテリーの残量が十分かどうか、あるいはＡＣアダプターが接続されているかどうかを確認してください。

MP3 ミュージックの再生

1. イヤフォンをカメラに接続します。
2. カメラを MP3 モードに設定します MP3♪ 。
3. カメラのフロント部分にあるコントロールスイッチを使って音量を調整します。上矢印(▲)を押すと音量を上げ、下矢印(▼)を押すと音量を下げることができます。
4. コントロールスイッチを使って再生したいMP3ミュージックを選択することもできます。右(+)を押すと次の音楽、左(-)を押すと前の音楽が選択されます。
5. 選択した MP3 ミュージックを再生するには、シャッターボタンを押します。再生を中止または再開するには、シャッターボタンを押します。
6. 再生を終了するには、フロントパネルにある消去 / 中止ボタンを押します。

MP3 モードの LCD パネル

AUDIO

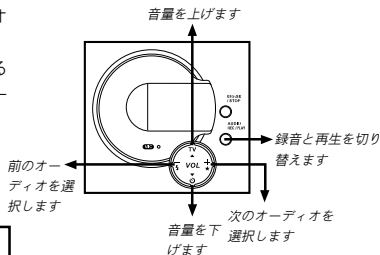
e - mini M をオーディオレコーダーとして使用する

e - mini M にはメモやインタビュー、会議等を録音することができる、オーディオレコーダ機能も内蔵されています。カメラに録音したオーディオを再生したり、PCに転送したりすることができます。

録音

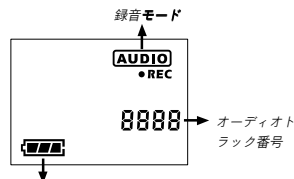
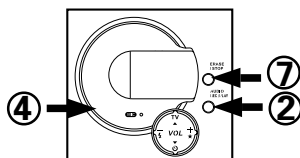
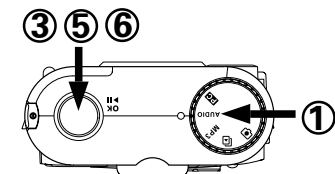
録音機能を使用するには、カメラをオーディオモード(AUDIO)に設定します。
シャッターボタンとカメラのフロント部分にあるボタンを使うと、録音、一時停止、録音したオーディオの再生、消去などを行うことができます。

注 意

オーディオの消去については、25ページを参照してください。

オーディオの録音

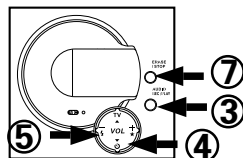
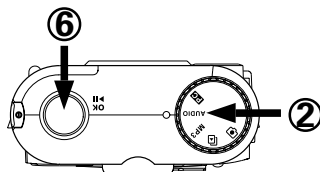
1. カメラをオーディオモードに設定します AUDIO
2. AUDIO REC/PLAY ボタンを押すと LCD パネルに RECと表示されオーディオ録音モードに入ります。
3. シャッターボタンを押すと録音が開始されます。
4. 自分の声を録音するときには、カメラのフロント部分にあるマイクロフォンに向かって話してください。またはインタビュー、会議等を録音するときには、音声が最も入りやすい場所にカメラを設置して、マイクロフォンを話し手に向けてください。
5. 録音を一時停止するには、シャッターボタンを押します。
6. 同じトラックを続けて録音するには、再度シャッターボタンを押します。
7. 録音を終了するには、フロントパネルにある消去 / 中止ボタンを押します。

注 意

一時停止後に再度シャッターボタンを押すと、オーディオは同じトラックに録音されます。オーディオセグメントを終了するには、消去中止ボタンを押してください。

オーディオモードのLCDパネル

オーディオの再生

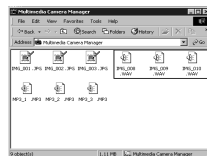
オーディオを再生するには:

1. イヤフォンをカメラに接続します。
2. カメラをオーディオモードに設定してください AUDIO 。
3. REC/PLAY ボタンを押し LCD パネルに PLAY と表示させてください。再生モードに入ります。
4. カメラのフロント部分にあるコントロールスイッチを使って音量を調整します。上矢印(▲)を押すと音量を上げ、下矢印(▼)を押すと音量を下げることができます。

5. コントロールスイッチを使って再生したいオーディオトラックを選択することもできます。右(+)を押すと次のトラック、左(–)を押すと前のトラックが選択されます。
6. 選択したトラックを再生するには、シャッターボタンを押します。再生を中止または再開するには、シャッターボタンを押します。
7. 再生を止めるには、消去/中止ボタンを押します。

オーディオ再生モードのLCDパネル

録音したオーディオをPCへ転送する

e-mini M はオーディオを .WAV フォーマットで録音し、その後オーディオを PC に転送できます。
録音したオーディオをカメラから転送するには

1. カメラに同梱されているUSBケーブルを使って PC に接続します(USB ケーブルの接続方法については、18 ページを参照してください)。
2. カメラを PC モードに設定します PC 。
3. デスクトップ上の[DSC Application Suite]のショートカットアイコンをダブルクリックします。
4. Multimedia Camera Managerのボタンをクリックします。
5. 転送したいオーディオトラックを選択し、Multimedia Camera Manager フォルダから指定したフォルダにファイルをドラッグします。
6. コピーが完了したら、オーディオはカメラから PC へダウンロードされたことになります。

注 意

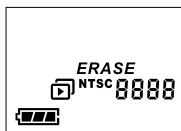
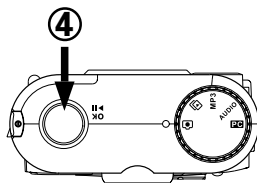
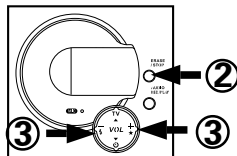
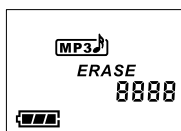
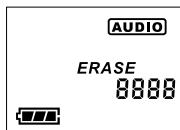
USBケーブルを使ってカメラとPCを接続するときには、バッテリーやＡＣアダプターを使用する必要はありません。カメラにはUSBポートを介してPCから電源が供給されます。

e-mini M からデータを消去する

カメラの内部メモリと CF カードがいっぱいになってしまったら、いくつかのデータを消去して保存領域を空けてください。ただしデータを消去する前に、必要なデータを先にPCへ転送しておいてください。

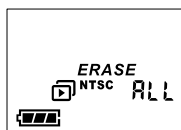
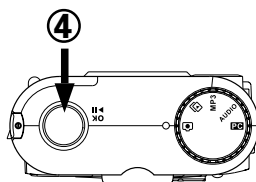
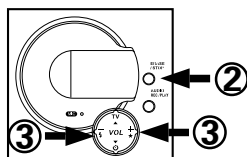
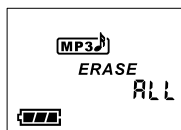
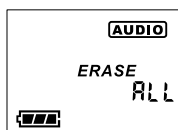
画像、MP3 ミュージック、オーディオを消去する

画像、MP3 ミュージック、オーディオを消去するには:

1. カメラを消去したいファイルの操作モードに設定します。
   - 画像を消去するには、TVモードに設定してください。
   - MP3 ミュージックを消去するには、MP3 モードに設定してください MP3。
   - オーディオを消去するには、オーディオモードに設定してください AUDIO 。
2. 消去モードに入るには、フロントパネルにある消去 / 中止ボタンを押します。
3. カメラのフロント部分にある4-Way切り替えコントロールスイッチを使って、消去したい画像、MP3 ミュージック、オーディオトラックの番号を選択します。続けて右(+)を押すと次のファイルへ次々にスキップし、左(–)を押すと前のファイルに戻ります。LCD パネルに消去したい番号が表示されるまで、この作業を続けてください。
4. シャッターボタンを押すと選択したファイルは消去されます。
5. 消去/中止ボタンを押して消去モードを終了します。

画像の消去(TV モード)

MP3 ミュージックの消去(MP3 モード)

オーディオの消去(オーディオモード)

すべての画像、MP3 ミュージック、オーディオトラックを消去する

すべての画像、MP3 ミュージック、オーディオトラックを消去するには:

1. カメラを消去したいファイルの操作モードに設定します。
   - すべての画像を消去するには、TV モードに設定してください 。
   - すべての MP3 ミュージックを消去するには、MP3モードに設定してください MP3
   - すべてのオーディオトラックを消去するには、オーディオモードに設定してください AUDIO。
2. 消去モードに入るには、フロントパネルにある消去 / 中止ボタンを押します。
3. LCDパネルにErase All(すべて削除します) というメッセージが表示されるまで、コントロールスイッチの右(+)か左(–)ボタンを押し続けてください。
4. シャッターボタンを押して、操作モードに基づいてすべての画像、MP3 ミュージック、オーディオトラックを消去します。

すべての画像を消去(TV モード)

すべての MP3 ミュージックを消去 (MP3 モード)

すべてのオーディオトラックを消去 (オーディオモード)

e-mini M をPC カメラとして使用する

このカメラにはWindows 98プラグアンドプレイに準拠した、PC対応USBデバイス機能が備えられています。PCの電源を切る必要はありません。カメラのUSBケーブルコネクタをPC USBポートに接続すると準備完了です。

1. Multimedia Camera Managerがインストールされていることを確認します(詳細は17ページの「ドライバとソフトウェアのインストール」のセクションをお読みください)。
2. USBケーブルでカメラとPCが接続されていることを確認してください(詳細は、17ページの「カメラとＰＣの接続」をお読みください)。
3. カメラをPCモードに設定します PC。
4. Microsoft NetMeetingを起動します。

注 意

Microsoft Netmeetingの使用方法についてはヘルプメニューをご参照ください。

付録1 ：LCDアイコン

アイコン	説明
PC	PCモード
(カメラ)	DSCモード
(TV)	TVモード
MP3	MP3モード
MP3 ▶PLAY	MP3再生
AUDIO	オーディオモード
AUDIO ▶PLAY	オーディオ再生
AUDIO ●REC	録音
(電池)	フル
(電池)	半分
(電池)	空
ERASE	消去アイコン
VOL	音量アイコン
II	一時停止アイコン
ϟA	オートフラッシュ
(フラッシュ禁止)	フラッシュなし
★	標準画質
★★	高画質
PAL	TV（PAL）
NTSC	TV（NTSC）
(タイマー)	セルフタイマーON

付録２：カメラの仕様

撮像素子	CMOS センサー
解像度	640 x 480 ピクセル
内臓メモリ	フラッシュメモリ：2MB
外部メモリ	CF カード
画像保存領域(2MB)	フォト約 32 枚分(標準)
入力端子	AC アダプタ / USB / ビデオ出力(NTSC / PAL)，イヤフォン出力
ファインダー	光学式
LCD ディスプレイ	テキスト表示：モノクロ LCD
LCD インジケータ	セルフタイマー(赤，前面)；準備完了(緑，上部)
レンズ	固定焦点レンズ
電源供給	単３アルカリ電池 x ２本；AC アダプタ 5V DC / 2.4 A ；
	USB ポートより DC5V
MP3	MP3 ファイル再生
音声	録音 /.wav ファイル再生
フラッシュモード	オート，OFF
フラッシュ撮影範囲	0.5m – 1.5m
セルフタイマー	10 秒
露出	オート
ホワイトバランス	オート
シャッター	電子シャッター(自動)
圧縮方式	JPEG ベース
オート OFF	無作動後 120 秒で OFF
重要	136 g（電池および CF カードを装着していない状態)
寸法	91 x 80 x 35 mm

デザインおよび仕様は、予告なく変更される場合があります。